

Health Professional Meeting (H20) 2019

Road to Universal Health Coverage

June 13th & 14th, 2019

Hilton Tokyo Odaiba, Tokyo

UHCに関する東京宣言

Health Professional Meeting (H20) 2019において、世界医師会（WMA）と日本医師会（JMA）は、世界保健機関（WHO）、各国政府、政府間および国連機関、その他の組織によるユニバーサルヘルスカバレッジ（UHC）を提供するヘルスケア制度の開発を推進する取り組みを歓迎する。

私たちは、UHCを「すべての人々および地域社会が、その必要とする効果的で十分な質の、健康増進、予防、治療、リハビリおよび緩和に関するサービスを、経済的な困難を伴うことなく確実に享受できること」（WHOによる定義）を意味すると理解する。

UHCは、ヘルスシステム自体の不平等を克服するためのツールである。

UHCは、人々のためのものであると同時に人々によるものでもある。

多くの国ではヘルスケアのための人的資源が不足している。私たちは、医療専門家の教育と定着化への投資を行う責任者すべてに対して、UHCを実現するよう求める。

これには、質の高い教育、継続的専門能力開発の機会、そして地域社会と患者に医療を提供する人々にとって、最も重要で安全、尊厳重視で魅力的な労働条件や生活状況が含まれる。

WMAは、世界のすべての地域における医師と医師会に対して、UHCの擁護と実現に重要な役割を果たすよう奨励する。

医療側からすれば、包括的ヘルスシステムの中核部分として質の高いプライマリケアの開発への強い関与を含め、UHCの概念を受け入れることに躊躇があってはならない。

私たちは、G20の財務大臣¹がUHCの発展を「開発途上国における、人的資本の開発、持続可能かつ包括的成長と開発、ならびにパンデミックや抗菌薬耐性などの健康上の緊急事態の予防、発見と対応」に貢献するものとして最近注目していることを歓迎する。

私たちはG20サミットに対して、以上のことがG20諸国のみならず、理由を問わずヘルスケアシステムに未だ十分な投資ができない他の諸国においてこそヘルスケアシステムに対する改善された持続可能な投資への道を鼓舞するという期待を表明する。

¹ https://www.mof.go.jp/english/international_policy/convention/g20/communique.htm
https://www.mof.go.jp/english/international_policy/convention/g20/annex8_1.pdf